

令和元年度 共創による多様な森林づくりワークショップ

令和元年1月16日（木）君津市農村環境改善センターにおいて「共創による多様な森林づくりワークショップ」を開催しました。

ワークショップには、千葉県、関係市、関係業界等から41名及び局署等関係者24名が出席しました。

冒頭、関東森林管理局寺川次長及び千葉県森林課副課長から挨拶があり、台風15号による被災当時の状況と今後の多様な森林づくりに向けたワークショップにエールをいただきました。

続いて、君津市、千葉県及び千葉所から台風15号による被害状況の報告を行いました。

その後、国民参加の森林づくりに対する意向がある団体の発言として、イオン環境財団より、これまでの植樹実績、FSC認証商品の取り扱いを推進していること、カンボジアや九州での森づくりの話題提供が行われ、今後においては千葉を発信源として、更に積極的かつ長期にわたる国民参加の森林づくりを行うとの話がありました。



午後からは、千葉県農林総合研究センター 森林研究所の福島氏から「非赤枯性溝腐病と多様な樹種による森林づくり」、森林総合研究所 林木育種センターの生方氏から「コウヨウザン等早生樹の特性・生育等について」と題した基調講演が行われ、参加者は熱心に聴講していました。



基調講演終了後のワークショップにおいては

- ・自治体職員からは、送電線や道路インフラ周辺における森林づくりへの助言
 - ・災害に強い森林づくり手法
 - ・初心者でも理解できる森林づくり指針の提示
 - ・海岸林の保全
 - ・カシノナガキクイムシへの対策
 - ・災害時におけるイオンのマンパワーの活用
- など様々な質問・意見がだされました。



千葉所としては、千葉県における今後の台風被害からの復旧、そして森林・林業の再生にあつては、森林づくりに携わる企業・団体や試験研究機関、行政といった産・学・官が連携し、それぞれがマンパワーや知見・技術を発揮して取り組む必要があると考えており、今後においても共に考え造り上げる場を設置するなど、積極的な取り組みを進めていきたいと考えています。